

ほしめいの



発行日 令和7年 6月21日 発行者：干布小学校教育後援会

教育後援会は、今年で48年目を迎えました。これまで、地域の皆様の深いご理解と多大なるご協力を賜り、地域で学ぶ、地域に学ぶことを中心とした体験活動など、特色ある学校づくりを充実させることができました。今年度もどうかご協力賜りますようお願い申し上げます。

ごあいさつ

教育後援会 会長 鈴木 修史



あじさいの花が彩りを深める好時節となりました。干布小の教育後援会は昭和53年に発足し47年の長い歴史を持つ会です。これも偏に干布地区の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝を申し上げます。

さて、昨年の本会の主な活動としては、運動会での応援団Tシャツを新調させて頂き、応援合戦など活気のある運動会になりました。創立記念日には干布小創立145周年記念式典を行い、子供たちにお祝いの紅白餅をお配りさせて頂きました。

今年は32名という多くの新1年生が入学し、全校生徒145名の子供たちが毎日元気に通学しています。本会では例年同様に子供たちが様々な活動において活躍することの励みとなるように支援して参りたいと思います。

また、学校要覧と本会の会報を地区全戸にお配りさせて頂きます。会報には新しく干布小にいられた先生方の紹介欄を設けましたので是非ご覧いただき、干布小のことをより知ってもらい親しみやすい学校になれば良いと思います。

皆様方には今年もご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

地域に学び・育つ

干布小学校 校長 熊谷 雅志



日頃より、地域のみなさまには本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。本校では、目指す子ども像の一つに「ふるさとを愛する子供」を掲げ、地域の皆様とともに、地域を愛し、地域に根ざし、地域から学ぶ子どもたちの育成を目指しています。

子どもたちの健やかな成長や夢の実現、将来、地域社会に貢献できる人材育成のためには、大人の支えが必要です。そのため本校では、地域の皆様との関わりを大切に、様々な活動を通して子どもたちに地域の魅力や大切さを学んでほしいと考えています。地域の歴史や文化を学ぶ授業や地域貢献活動を通じて、子どもたちの地域に対する愛着や誇りを育んでいきます。皆様の様々な経験や多くの知識を子どもたちに伝えていただけると幸いです。

今年度スタートした、第7次山形県教育振興計画の「目指す社会」においても、「子どもは学校の中だけでなく社会の中で交流しワクワク感をもって学ぶ」、「家庭は子供の試行錯誤を見守り、挑戦できる環境をつくる」、「地域は多様な学びの場や安全・安心な環境を提供する」ことが示されました。子どもの育成について、学校・家庭・地域が一体となることの重要性が謳われています。

今後とも、本校の教育活動にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。